

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ:次回配信日は2026年1月9日(金)となります

発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

## «牛乳販売個数はほぼ前年並み、発酵乳は容量ベースで3品目計が前年超えに»

### 【牛乳類の販売動向】

- 12/15週の牛乳類4品目トータルの販売個数は、前年同週比が98.5%と10週連続で前年水準を下回り、前週(12/8週)との比較では減少率が2.5ポイント縮小した。牛乳類の内訳を見ると、牛乳(前年同週比99.8%)は10週連続で前年水準を下回ったものの、4週ぶりに前年同週比の減少幅が縮小した。成分調整牛乳(同93.5%)は50週連続、加工乳(98.5%)は42週連続、乳飲料(93.8%)は10週連続で前年水準を下回ったが、いずれも前年同週比の減少幅は縮小した。
- 牛乳類の販売個数を地域別に見ると、京浜、信越、九州、沖縄地域が前年水準を上回った。全国の販売個数の約3割を占める京浜地域が15週ぶり、約1割を占める九州地域が23週ぶりに前年水準を上回ったことで、全体の販売個数を押し上げた。
- 気温の低下に伴い飲用消費が落ち込む季節を迎えており、学校給食用牛乳の供給が停止する冬休み期間が始まった。さらに、来週の三が日は一部量販店が休業となる見込みで、今年は昨年度以上に生乳需給が大きく緩和する可能性がある。処理不可能乳の発生を回避するため、円滑な生乳処理に向けた対応に全国協調で取り組むことが求められる。
- 牛乳の消費喚起をめぐっては、12月19日に木原稔内閣官房長官、松本洋平文部科学相、金子恭之国土交通相、赤澤亮正経済産業相、松本尚デジタル相が記者会見で不需要期に向けた消費拡大を呼びかけた。さらに、23日の自民党役員会で高市早苗首相(自民党総裁)らが牛乳を飲んで応援する様子が24日にSNSへ投稿された。

### 【発酵乳の販売動向】

- 発酵乳の販売個数は、大容量タイプが2週ぶりに前年水準を上回った。ドリンクタイプは3週連続、個食タイプは39週連続で前年水準を下回り、3品目の合計販売個数も前年割れとなった。ただし、大容量タイプの好調を背景に、合計販売容量は16週ぶりに前年水準を上回った。

### 【家庭用バターの販売動向】

- 家庭用バターの販売個数は、5週連続で前年水準を下回った。販売単価は高止まりが続いているものの、最需要期を迎えており、今月の需要動向を引き続き注視する必要がある。

«参考»業界一体的な需要拡大活動 JミルクHPリンク先↓↓  
 「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb40000009qbz.htm>

## 【牛乳類の販売速報】

### (1)直近動向(表①参照)

- ・直近(12/15週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:99.8%、成分調整牛乳:93.5%、加工乳:98.5%、乳飲料:93.8%。  
**牛乳類トータルでは同98.5%**

参考:2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳類トータルの販売個数は88.0%。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

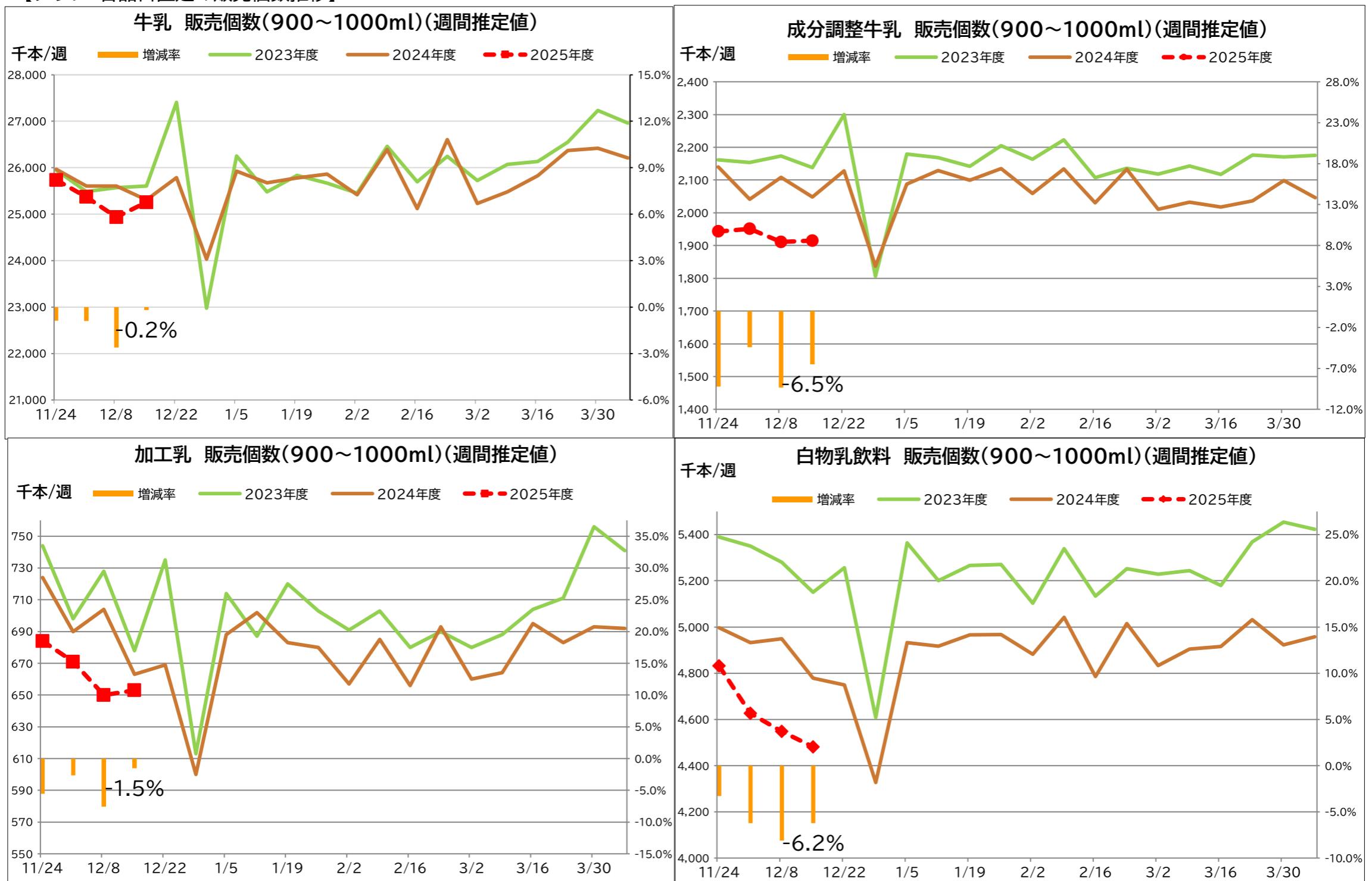
※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」

【表① 直近の牛乳類の販売動向】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	10.27-	11.3-	11.10-	11.17-	11.24-	12.01-	12.08-	12.15-	25.12.15- 22.10.24 価格差	25.12.15- 23.3.20 価格差	25.12.15- 23.7.24 価格差	25.12.15- 25.7.21 価格差
トータル	販売個数	33,854	33,947	33,767	32,336	33,196	32,620	32,046	32,310	42.6	27.7	25.3	9.3
	販売個数前年比	97.6	96.2	97.4	96.1	98.1	98.0	96.0	98.5				
	販売単価	225.7	225.9	225.4	226.1	225.7	225.3	225.6	225.8				
牛乳	販売個数	26,165	26,316	26,109	25,079	25,737	25,372	24,936	25,260	44.1	27.8	26.6	9.1
	販売個数前年比	98.5	97.3	98.2	97.2	99.1	99.1	97.4	99.8				
	販売単価	235.0	235.1	234.6	235.3	234.9	234.3	234.7	234.4				
成分調整牛乳	販売個数	2,040	2,008	2,004	1,900	1,943	1,951	1,911	1,915	42.8	28.0	23.1	9.9
	販売個数前年比	92.3	90.5	92.9	89.9	90.8	95.6	90.7	93.5				
	販売単価	215.1	216.7	216.0	217.6	216.4	214.5	215.4	216.1				
加工乳	販売個数	681	709	700	662	684	671	650	653	35.8	25.9	15.9	5.9
	販売個数前年比	89.0	97.3	93.1	94.6	94.5	97.3	92.4	98.5				
	販売単価	229.7	227.9	227.6	228.8	227.8	227.8	228.7	228.9				
乳飲料	販売個数	4,968	4,914	4,953	4,695	4,831	4,626	4,548	4,481	31.2	21.4	16.7	7.7
	販売個数前年比	96.8	92.5	95.6	93.1	96.7	93.8	91.9	93.8				
	販売単価	180.2	180.2	180.0	179.9	179.8	180.4	180.1	180.9				

## 【グラフ 各品目直近の販売個数推移】



## 【発酵乳の販売速報】

## (1)直近の動向(表②参照)

直近(12/15週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同105%以上(3品目合計販売個数は前年同期比90%以上、合計販売容量は同100%以上)。

(2)前週(12/8週)との実販売個数での比較では、3品目いずれも増加した。

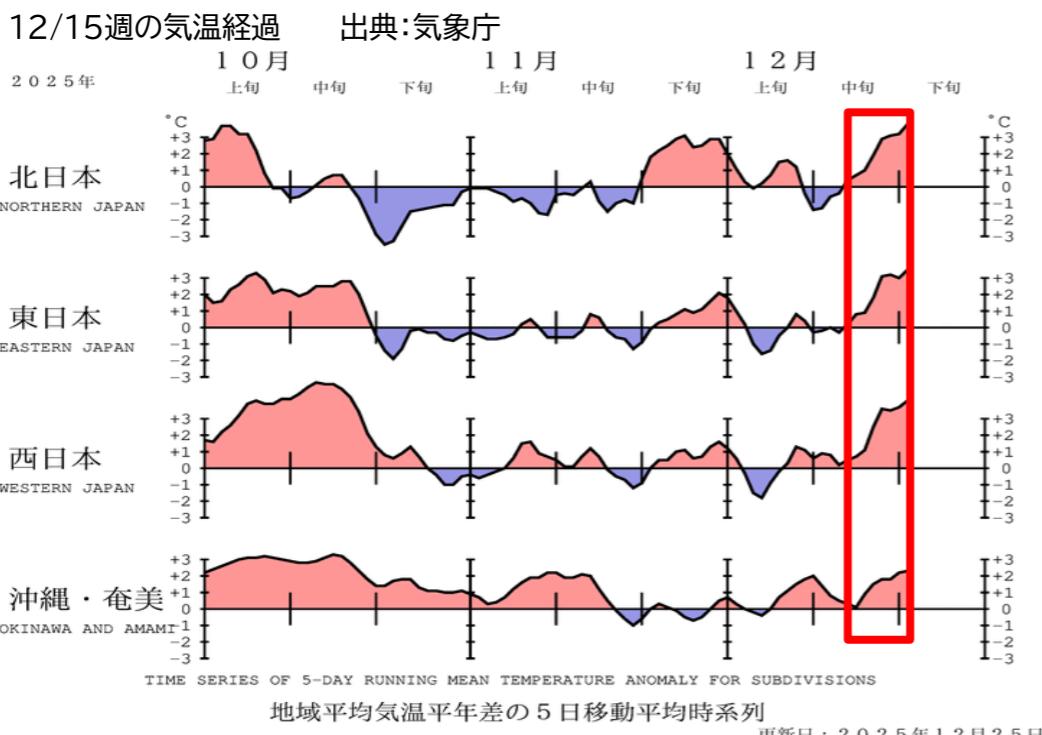
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」

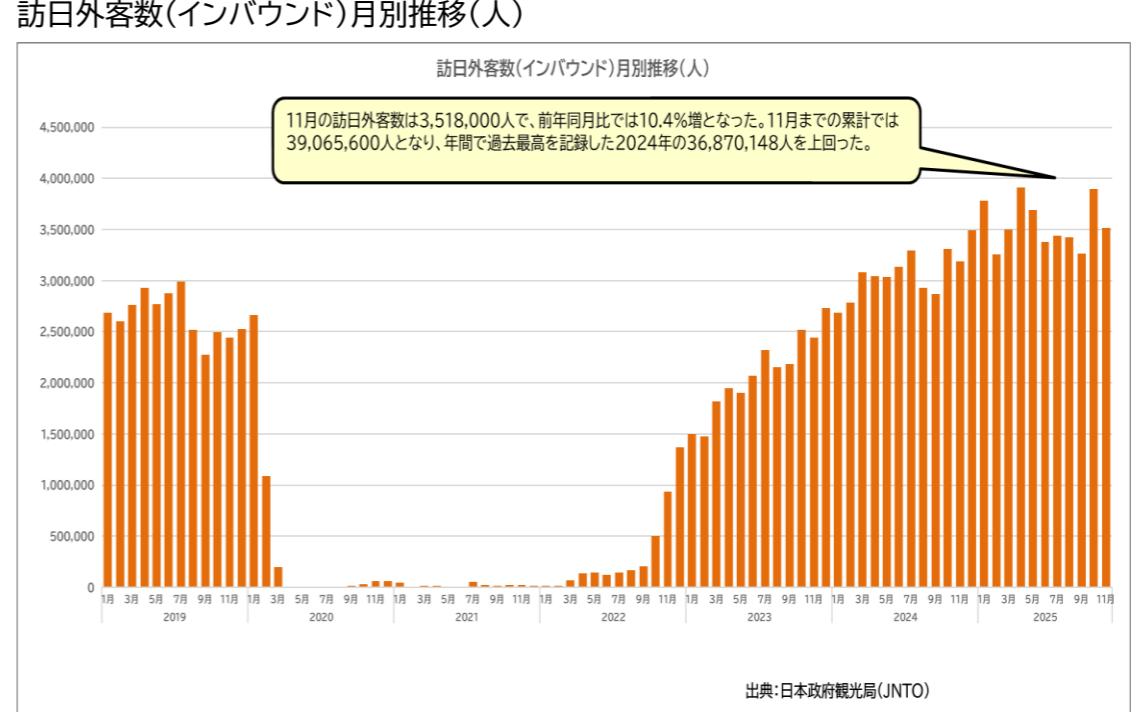
## 【表②発酵乳の販売動向】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	10.27-	11.3-	11.10-	11.17-	11.24-	12.1-	12.8-	12.15-
ドリンクタイプ	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
個食タイプ	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
大容量タイプ	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。



## 訪日外客数(インバウンド)月別推移(人)



※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」